

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 友野晴夫

1. 概要

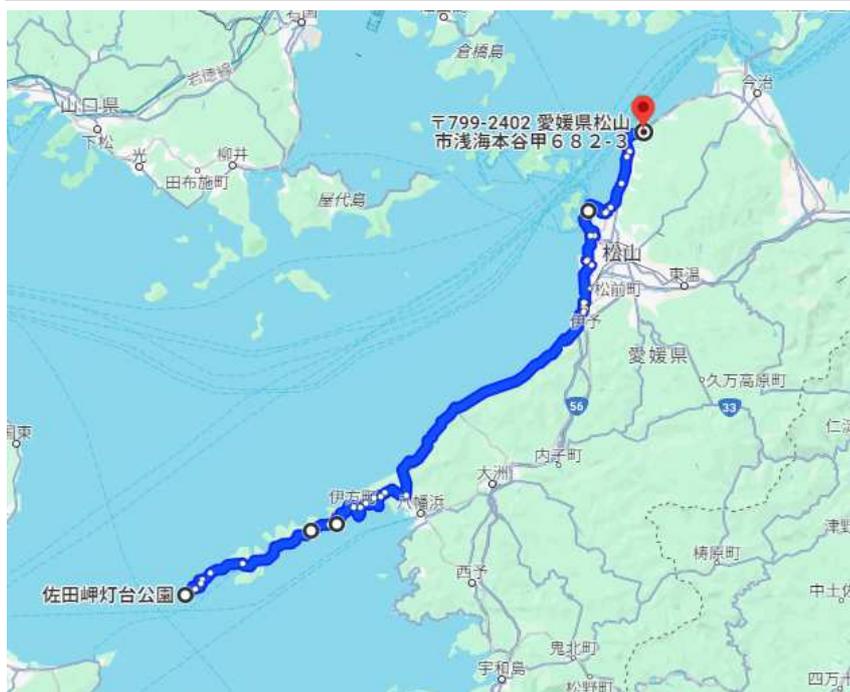
歩行名称	四国8
歩行区間詳細	スタート地点:伊方町役場(愛媛県西宇和郡伊方町) ゴール地点:JR 予讃線・浅海駅(愛媛県松山市)
実施期間	2023/11/7-11/11 (4泊5日)
全歩行距離	151 Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー	20期、友野晴夫	69	5	B班
2	記録・車両関係	9期、森正昭	81	5	A班
3	会計	水野源吾(森さん友人)	81	5	A班
4		曾根清(森さん友人)	82	5	A班

3. 歩行の概要

	月日	出発地 ~ 到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	11/7	伊方町役場~塩成	20.4 Km	A + B	分割歩行
2	11/8	塩成~佐田岬灯台	34 Km	A + B	分割歩行
3	11/9	伊方町役場~小網	45.9 Km	A + B	分割歩行
4	11/10	小網~ファミマ清住店	22.5 Km	A + B	分割歩行
5	11/11	ファミマ清住店~浅海駅	27.7 Km	A + B	分割歩行



全程の地図

4. 参加費

- 1) 参加者延べ日数： 4人×5日=20日
参加費合計： 20日×100円=2000円
- 2) 往復交通費は各負担
- 3) 共通会計（レンタカー代、宿泊代、食費等）
 - 7日 伊方町 民宿まるやま 6600円×4名
 - 8日 伊方町 民宿まるやま 6600円×4名
 - 9日 松山市 HOTEL AZ 愛媛伊予店 5910円×4名
 - 10日 松山市 HOTEL AZ 愛媛松山西店 5910円×4名
 - 11日 ガソリン代 L
 - 11日 レンタカー代 (5日間) 44,770円 (保険料込み)

5. 歩行の詳細

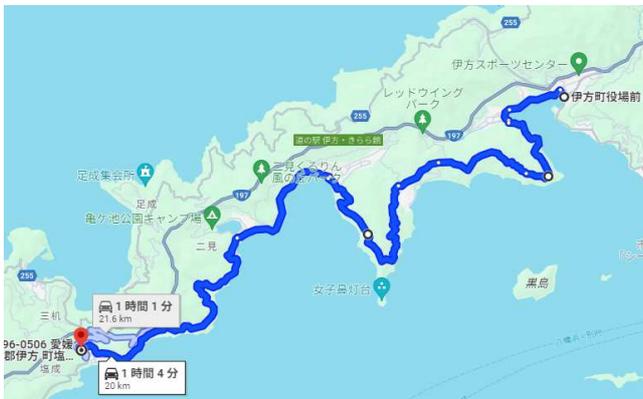
11/6 (月) 前日

2115 新宿バスターミナル発

友野は夜行バスで新宿から松山へ向かう

11/7、伊方町役場～二宮神社～塩成 20.4Km (晴れ)

(B班：伊方町役場～二宮神社、12.7Km、 A班：二宮神社～塩成、7.7Km)



7:10 羽田空港

森、水野、曾根の3名は空路で向かう

8:40 松山空港、空港でレンタカーを確保、松山駅へ、松山駅前、友野と合流、

910-940 松山駅で4名が合流し愛媛県伊方町へ向かう。

レンタカーで、今回歩く予定の海岸道をドライブして行く、今日は風が強く海面に白波が立っていた

1130 伊方町、やっと見つけた1軒しかない食堂で昼食を食べる

前回のゴール地点のバス停で、出発の写真を撮り、A班は中継地点へ車で行く



【B班、歩行開始】

1240 伊方町役場、出発

町を離れるといきなりの坂道、半島を南側へ周り込み登り詰めると景色は最高



しばらくミカン畑の中を快適に歩く



1400 宿名峠という高台に着き休憩する、落ちていたミカンを食べる、甘酸っぱい
ほとんど山の中腹の道で展望が良い
遠くに3月に歩いた宇和島方面が見える
一旦、九町に降りて、平坦に海岸縁を歩く



1530 二宮神社に到着、車を拾う

【A班、歩行開始】（記録者：森 正昭）

B班の到着地、二宮神社に車をデポする

13：50 二宮神社スタート、天気快晴、海穏やか



14：55～15：10 田之浦 休憩

15：45 塩成（しおなす）の狩浜漁港に到着したが、その先が行き止まり。

16：10 山側の「塩成中網代バス停」へ登って歩行終了。B班の車と合流。

【歩行終了】

1600 塩成でA B班が合流

全員、車で伊方町の民宿へ向かう

1700 車で民宿まるやま別館着、2食付き 6600 円、一人一部屋

魚料理が豊富で満足する、茹でエビが美味しい



<感想>森正昭

伊方町役場近くの和食の店「ひろせ」の定食は煮魚が絶品で 650 円と嬉しい値段。

海に面した山はミカン畑がつらなり、そのための農道が錯綜、迷路のような細い道に入ってしまい、危うく脱輪しそうになった。

車のデポ地に指定された二宮神社は、その表示がなく、近所の人に聞いて確認できた。

この地域はシラス漁の最盛期と聞いており、2 隻の船が網を引いていく姿が見られた。

伊方原発のおかげで、町役場は豪華になり、人気のない道路は美しく舗装され、過疎化の歯止めになっているように思われた。ゴミ箱もその助成金で作られたのだろう。



11/8、塩成～佐田岬灯台 34Km (晴れ)

(A班：塩成～新名取口バス停、13Km、 B班：新名取口バス停～佐田岬駐車場、19Km、全員：佐田岬駐車場～灯台、2Km)



800 全員、車で民宿を出発し、伊方町のコンビニで食料を買う

830 塩成

昨日の終了地点でA班を降ろし、B班は中継地点へ行く

【A班、歩行開始】（記録者：水野源吾）

8:35 塩成のバス停をスタート



塩成バス停・今日のスタート

快晴、海穏やか佐田岬半島を貫く国道197号の宇和海側、海に面したアップダウンする道を歩く。車、人家少ない。右手稜線に風力発電風車が並ぶ。白い羽根が回る。

11:00 道路の右手はみかん畑。収穫の時期、休憩していたおばさんに話しかけたら、みかん15~20個をビニール袋に入れ、三人分を渡された。取れたてで甘かった。



みかん運搬用モノレール

11:30 道路わきに「佐田岬マラソン」の青いのぼり旗がならぶ。12日、この道を走る。ハーフマラソン 瀬戸・三机がスタート・ゴール 大久で折り返し 標高差80m



佐田岬マラソンコース

12:30 新名取バス停で車に乗る

12:50 三崎港のレストランに着き、昼食はしらす丼

13:40 佐田岬灯台駐車場でB班と合流



佐田岬灯台



【B班、歩行開始】

855 新名取口バス停に車を置く

天気がよく展望がすばらしい、今日は佐田岬の半島のハイウェイの広い道を歩く

トンネルが3か所あるが、歩道があり安心して歩ける

山間の道から下ったとろろにファミリーマートがあり、コーヒー休憩する

1015 三崎港の町を歩く、じゃこ天専門の土産物屋さんに立ち寄る



三崎港を過ぎると道が細くなり、蛇行する
左右に海を見ながら高台を歩く

1210 佐田岬漁港

静かな漁港、天気良く穏やかな海を眺めながら写真を撮る



急坂を登り、再び高台の道を歩く
半島が狭くなり両側が海の道を歩く、最高の景色だ



1330-1400 佐田岬駐車場

B 班の車が到着し、全員で岬まで徒歩で往復する、灯台までアップダウンの片道約 2km

1420 佐田岬灯台到着

海の向こう西 15km は大分県佐賀関 北は伊予灘、南は宇和海
三崎からは九州が目に見える



【歩行終了】

展望台経由で駐車場に戻る

1500 展望台、途中にある展望台の小山に登る
270度の海に囲まれた景色を堪能する

1530 駐車場に到着し、車で民宿に向かう

16:20 四国電力伊方原子力発電所を、公道から見る

17:00 民宿まるやま別館到着

1630 民宿、タイのあら煮、サザエが出る

<感想>森正昭

佐田岬は幅が広いところで南北約6km。真ん中を東西に標高200m位の山が連なる。

周防灘、伊予灘からの強い風を受け、稜線に発電風車が連なる。日当たりがよく、温かい南側の傾斜地はみかん畑。収穫したみかんを道路まで降ろすレールとエンジン台車があちこちに。

南の宇和海は、水の透明度が高く、澄んで、漁港がある。自然豊かだった。

愛媛県の人口は四国4県でいちばん多く131万人。民放テレビは4局が映る。

連泊した民宿は、設備も食事もレベルが高く、割安だった。

ワングル2年生の夏合宿の後、予讃線に揺られ佐田岬の中ほどの村まで行った。青年団とのバレーボールや映写会など行い交流したのだが、なんという場所だったのか思い出せない。そんなこともあり、佐田岬を歩くことに心が躍った。

川之浜までの海沿い道は、ほとんど車も走っていない。ミカン畑では錆びついたモノラックが多数見られた。また、道路脇の擁壁の石の積み方が珍しく写真を撮った。



川之浜に入ると、珍しく農作業帰りの2人の女性たちに出会った。山のミカン畑で収穫作業をしていたが昼時になったので戻ってきたという。顔が見えないので年齢不詳、娘さんと呼んだら大笑い。

これから佐田岬まで行くと話したら、3人にミカンをどっさりくれた。

その先には、広々した園庭にとんがり帽子の建物の保育園があり、8人が通っているとのこと。子どもたちと会えたことも無性に嬉しかった。ワングル2年の時に訪れたのは、この川之浜だったようだ。

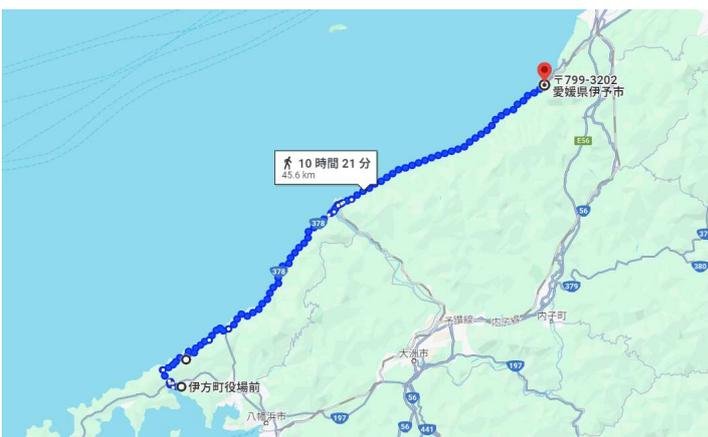


友野さんと合流後、念願の佐田岬の灯台へ。対岸の九州・臼杵半島は約 15 km、佐賀関精錬所の煙突もよく見える。潮の流れが速い。一方伊方町から灯台までは約 40 km、好天の日に到着したことに感謝した。



11/9、伊方町役場～小網 45.9Km (曇り)

(B 班：伊方町役場～櫛生、20.4Km、 A 班：櫛生～下灘駅、17.2Km、B 班：下灘駅～道の駅ふたみ、6.1Km、
A 班：道の駅ふたみ～小網、2.2Km)



730 民宿を車で出発

出発前に女将さんと皆で写真を撮る、高校生娘さんに写真を撮ってもらう



【B班、歩行開始】

750 伊方町役場

B班はここで車を降りて、中継地点へ行く



ハイウェイまで少々登ると伊方の穏やかな入り江と街並みが見える
2泊もお世話になった伊方町に別れを告げ、トンネルを2つ抜ける
トンネルを抜けると瀬戸内海に面する道路に出る



850 伊方越

道は広く静かな歩行を楽しむ

1000 広早

展望が良い高台の道

この辺は裏街道といった感じで、本当に静かだ



1100 喜木津トンネル

やがて八幡浜から来る国道に出ると車が多い

歩道があるので安全だ

しばらく海沿いの平坦な道を歩く

1245 櫛生

A班がデポした車に乗る

車を走らせると、やがてA班に追いつき、道端で相談する

今日はまだ時間に余裕があるので、各班が2回目の歩行をすることを決める

B班はA班を追い越し、下灘駅に車を2回目のデポをする

【A班、歩行開始】（記録者：森 正昭）

A班は197号線から国道378号線を経てB班の到着地、櫛生漁港に車をデポ。

8:20 櫛生漁港スタート、薄曇り、海穏やか

9:20~9:30 南予乗馬クラブ前 休憩



10:00 長浜大橋（国指定重要文化財）見学



10:25~10:35 伊予長浜駅で休憩

11:35~12:00 今坊浜 コーヒーショップ前で昼食

途中でB班の車が追いつく、B班と相談して、今日はまだ時間的に余裕があるので、各班が追加で、2回目の歩行で距離を延ばすことにする

13:05~13:20 下灘駅 B班友野さんがデポした車をゲット

A班は、2回目の中継地点である道の駅ふたみに行く

【B班、2回目の歩行開始】

1315 下灘駅

駅付近に車を置き、再び歩き始める

下灘駅は海が目の前の風景の素晴らしい駅である



時々日が差し、青空が見えはじめる

1450 道の駅ふたみ、車をゲット

道の駅なので散歩してしばらく観光を楽しむ

名汚物のじゃこ天カツを食べる

A 班が 2 回目にデポした車に乗り、A 班を追う

【A 班、2 回目の歩行開始】

下灘駅で車に乗り、次の歩行の開始点である「道の駅ふたみ」に行き
車を再びデポする

1430 道の駅ふたみ

ちょこっと歩いて距離を延ばす

1500 小網着

【歩行終了】

1520 小網

ここで A B 班が合流する

車でホテルに向かう

1600 ホテル AZ

ビジネスホテル、各自シングルの部屋

夕食は、ビールで乾杯して、バイキング料理をたらふく食べる

夜は森さんの部屋に集まってミーティングする

<感想> 森 正昭

佐田岬の根本部分を国道 378 号が縦断しており、途中は 2 km のトンネルになっている。トンネルを過ぎると宇和海から瀬戸内海となり、「夕焼けこやけライン」と呼ばれている。絶景の夕日が見られるのだろう。

「伊予ふれあい乗馬クラブ」の看板前で休憩していたら、不審人物と思われたか、管理人が見に来た。厩舎から馬も顔を出し見ている。

宇和海のリヤス式海岸とは違い、単調な海岸線を 3 人でのんびり歩く。



伊予長浜の入り口、赤色の鉄橋で補修工事が行われていた。案内の看板によると現存する最古の道路橋で「バスキュール式鉄鋼開閉橋」、いわゆる跳ね橋で、通称赤橋と呼ばれているとあった。

378 号線は海に沿っており、並行して走る予讃線が忘れたころにやってくる。2 時間に 1 本。

串駅でデポされていた車を回収、同行の水野さんが「下灘駅に行きたい」という。理由が分からないまま行ってみると、タイミングよく列車が到着しており、数十人が海を背景にした写真を撮っていた。瀬戸の島々が眺められる絶好の駅だった。ラッキー！！



<感想>水野 源吾

「下灘駅」、「理由がわからないまま行ってみると・・・」ここは、「青春18きっぷ」のポスターに3年連続取り上げられた、予讃線人気の駅です。

この時間、ホームに来ていた2/3は若い女性。

意外や男性・鉄ちゃんは少なかった。

下灘駅 くわしくは、下をクリックしてみてください。

[下灘駅 | 海の見える駅 \(seaside-station.com\)](http://seaside-station.com)

[青春18きっぷを代表する「下灘駅」へ。大切な人と写真を撮りに行こう！ - イージュ☆camper](http://goodfreedomcamper.com)

[\(goodfreedomcamper.com\)](http://goodfreedomcamper.com)

なお、当日写した写真を添付します。

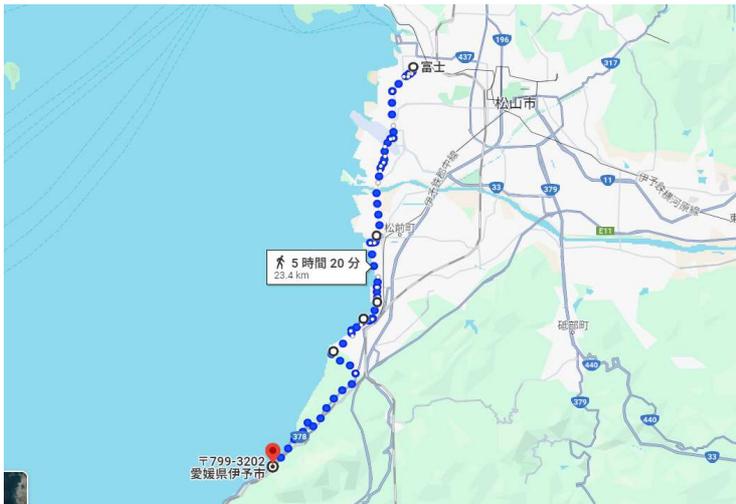


13時52分、八幡浜行き1両編成の列車が到着。客が乗降し54分に発車した。

過ぎ去る列車を見送り、静かになったホームに目を戻すと、女性がひとりベンチに座って、海を見つめていた。何を思っ・・・ “青春18”ポスターの風景。

11/10、小網～ファミマ清住店 22.5Km (曇りのち雨)

(A班：小網～五色姫海浜公園、10.1Km、 B班：五色姫海浜公園～ファミマ清住店、12.4Km)



800 ホテルを車で出発し、昨日の終了点である海岸縁の小網に行く

820 小網でA班が降りる

【A班、歩行開始】 (記録者：水野源吾)

8：20A班は前日終えた”小網”から歩き始める

天気予報は、「昼ころ雨が降り始め、次第に強くなる」 結果は予報通りになった。



10:40 伊予市の”しおさい(運動)公園”で休憩 公園は広く、建物も大きく立派 市人口34474人 施設がひんぱんに使われているようには見えなかった。

11:40 五色浜海浜公園で、車をゲット

小雨が降り出す

【B班、歩行開始】

850 海浜姫公園

車をデポし、出発する



ここは松山市の西方に位置する
古風な建物が続く灘町を歩く
伊能忠敬が測量で泊まった宿がある



955 松前駅

コンビニでコーヒータイムする

1030 重信川

松山市の大きな川の橋を渡る

雨が少しずつ降り始めてきたので、雨具を付けて歩く

1110 松山空港

地下道で空港を横断する

地下道は幅が狭いが、車も通れる



車が通過すると少し怖い
雨が本降りになってくる

1215-1240 ファミマ清住店
A B班でLINE で雨情報を交換し、雨が強いので、
この先の歩行を断念する、今日はここで歩行を終了する
【歩行終了】

ファミマ清住店でA B班が合流する

1300-1400 全員 4 人集まり、ジョイフルで昼食
午後のスケジュールを相談し、四国霊場 88 か寺に行くことにする

1430-1530 51 番札所石手寺を参拝、子規記念博物館見学
境内は広く立派な寺である



外国人のお遍路さんもいる
洞窟があり長かった

1600 HOTEL AZ 愛媛松山西店にチェックイン
部屋で雨具、リュック等を干す

今日もビール&バイクで歓談し、盛り上がる



<感想>水野源吾

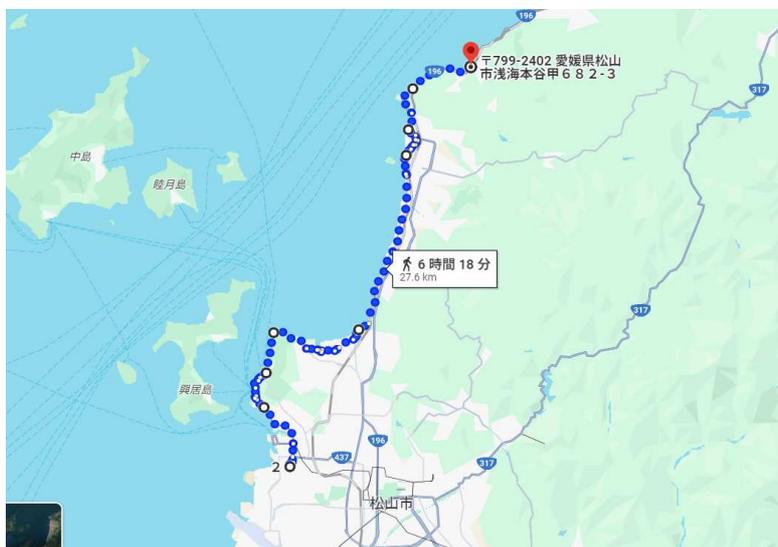
- ・ 今回は、海を左手に見ながらの歩きだった。1～3日目は、自然が豊か。
4～5日目は、都市部、工場地帯に入り、国道378号を大きなトラックが連なって走る。
- ・ ”しおさい公園”内のあづまやで、近くの施設に入居中の70代女性が、一代話しをしてくれた。
施設内でも、ここに来て、話し相手は少ない。久しぶりに話をした、と言っていた。
- ・ A班とB班が連絡を取りあうのに、スマートフォンのLINEが、役にたった。
- ・ 宿泊したHOTEL AZの2泊は、同系列で近くにある別のホテル。きれいで安い。
四国3県で14店、九州で68店を展開している。

<感想>森正昭

午後から、市内の51番札所石手寺を雨の中訪れる、国宝の仁王門を有り難く参拝、三重塔、本堂などが重要文化財。150mもあるという「マントラ洞窟」は、冥界と現世を行き来するような不思議な世界だった。休養と古寺参りの時間を与えてくれた、この日の雨に感謝。

11/11、ファミマ清住店～浅海駅 27.7Km (晴れ)

(B班：ファミマ清住店～粟井駅、17Km、 A班：粟井駅～浅海駅、10.7Km)



800 ホテル

昨日の雨はすっかり止み、今日も天気は良さそう
車で昨日の終了点に行く

【B班、歩行開始】

815 ファミマ清住店

A班に車から降ろしてもらう

しばらく町中を歩き、やがて海岸べりの道となる

900 梅津寺駅(ばいしんじえき)

海辺に面した素晴らしい展望の駅



松山市内にもこんなに良い所があったとは大発見

写真&動画を撮る、駅の職員の方と話を

この駅の夕日の沈む時の素晴らしい写真を見せてもらう

930 高浜駅、フェリー乗り場がある

エキゾチックな駅で写真を撮る

しばらく綺麗な海岸沿いの道、瀬戸内の小島が点々と見える



1100 和気町

港町のお稲荷さんで休憩

お遍路さんと遭遇し、10分ぐらい話をしながら一緒に歩く

男性お遍路さんは3週間目で88か所を目指して歩いている（尊敬します！！）

1205 光洋台駅

海辺のテトラポットで休憩

海の水が綺麗で心が救われる、広島方面の山々が見える



1240-1250 粟井駅

今日のゴール地点に着き、車を拾う

A班のゴール地点に車で行く

【A班、歩行開始】（記録者：曾根清）

昨日と違って変わり、素晴らしい快晴となった

9:00 予讃線/粟井駅前に車を駐車、歩行開始



10:00~10:15 「鹿島」を見ながら休憩、島自体がご神体



11:10~20 道の駅「風早の郷」手前

11:45 リヤカーを引いて旅している有尾さんと出会う



12:55 予讃線・浅海駅到着、今回の終着地

1320 浅海駅【四国8のゴール地点】



AB班が合流し、今回の歩行をすべて終了する

【歩行をすべて終了】

<感想>水野源吾

我々3人は左手に瀬戸内海と浮かぶ小島や船を見ながら予讃線と並行している国道378号線の歩道上を黙々と歩いた。

国道から僅か10メートル入ったところが柳原駅だった。

我々は興味をもって立ち寄った。わりと大きな駅舎は無人駅で待合室にも人影はなかった。はたして乗降客はいるのだろうか？確認するには上下線とも2時間ていど待たねばならない。駅前の広場にも人影は見当たらなかった。

おそらくは交通手段が鉄道から自動車に代わってしまったと思われる。

<感想>森正昭

リヤカーを引いて全国を回っているという有尾さんと出会った。今しかできないことをやっているという。しばらく実家の鹿児島に帰っていないので、宇和島からフェリーで帰るとのこと。夜は道の駅などでテント泊だそうだ。

今回の旅の終点は、浅海駅となった。昨日の雨がなければ、四国一周が完了し、友野さんの思いも達成するはずだったが、あとはお任せとしたい。

高知から愛媛と3回歩いたが、海を生かしている地域と海が障壁になっている地域の差は大きいと感じた。過疎化がますます進んでいることもどうしようもない現実である。

【帰宅経路】

B班の3名は松山市内に、もう1泊して翌日に帰る

A班友野は今日、夜行バスで帰るため、今治駅までB班の車で送ってもらう

1430-1510 今治駅で解散する

駅で幕の内弁当を食べて、「じゃこ天」「鯛飯の元」などの土産を買う

しまなみ海道を高速バスで帰る

1640-1830 福山駅、駅前の庄屋で打ち上げ

1840-1915 東福山を出発、夜行バスで帰る

630 東京駅着

<全体感想>友野晴夫

佐田半島、佐田岬の海岸、松山市西方の海岸はどこを歩いても風光明媚で素晴らしかった
四国を一周して、また瀬戸内に戻ると、島がいっぱいあってのどかな風景でほっとします
リピートしたい場所がいっぱいです

森さん、水野さん、曾根さんとも2回目、3回目の歩行となり

毎晩、楽しい話を聞かせて頂き、共に歩いて頂き感謝です

お3人は、81-82才ですが、立派に歩かれるので、尊敬します
私も80才代まで歩けるように頑張りたいと思います

今回は四国一周の終結は達成できませんでした
あと30Kmぐらいを残して終了しました
もう1回、四国に来られることを楽しみにしています

6、動画集

四国 8-1 <https://youtu.be/QXw3htFHBRk?feature=shared>

四国 8-2-1 <https://youtu.be/zJAi6ue6Tyw?feature=shared>

四国 8-2-2 <https://youtu.be/7rplyRAo2os?feature=shared>

四国 8-3 <https://youtu.be/cp4eEnJuQF4?feature=shared>

四国 8-4 <https://youtu.be/5U8QMa0AB9Y?feature=shared>

四国 8-5 <https://youtu.be/pTNSW9ZDDhU?feature=shared>

7、 四国8歩く旅その後 11/11~13

作成 森 正昭

今回の歩行8は今治駅前解散、友野さんは夜行バスで東京方面へ、私たち3人は更に松山で2泊。

11/11(土)は土曜とあって、やっと確保できた松山市内の宿に到着、「ビジネス民宿 松山」素泊まり5000円の宿だった。民家を宿泊用にリホームした感じで居心地はいい感じだった。外食し宿に戻ってみると、お遍路のアメリカ人/エリックさんがいた。旅慣れており、日本語もかなり話せるので、いろいろ話しこんだ。

ミネアポリスにある大学で、IT関係の講座をもっているという。
7年間務めると、半年間の休暇がもらえるそうだ。以前は、香川県で高校で英語の教師をしており、日本が好きになったとのこと
今回は、四国88か所の札所を一度に回るのだそうだ。

アメリカではなぜトランプ前大統領に人気があるのか？岸田首相の政治感覚は？など意見交換が面白かった。

翌朝、出がけに一緒に記念撮影、スマホを立てかけ腕時計からシャッター操作したのに「オー、グレート!」。Apple Watchを使



っている人と初めて出会った。

なお、この日はガストでゆったりと朝食、歯を磨き、身支度して、レンタカーで面河溪に向かった。素泊まりで外食して、レンタカーで旅するのも悪くない。後半は子規記念館で学習。

11/12、松山駅前のホテル泊、11/13 松山発 7:45 の便で曾根さんと帰宅。水野さんは JR で京都方面を回って帰るとのこと。

十一月十二日
おもしろい会話 -
ありがとう
ごさいますた!!

お元気で
- エリック

